

保育園ふやし隊@杉並 保活当事者の声アンケート結果

1. 実施概要

(1) 対象

2016年4月からの入園のために杉並区の認可保育所に申し込まれた方
(合否関係なし。途中辞退したり、最終的に申し込みを断念された方も対象)

(2) 期間

2016年2月2日～2016年2月8日 (7日間)

(3) 実施方法

Webアンケート (保育園ふやし隊@杉並のMLでの呼びかけ、Twitterでの呼びかけ)

(4) 回答数

123件

2. 概要

(1) 申し込みしたクラス

1歳児が最も多く、半数を超えた。その他は「1歳児と3歳児」、「4歳児と1歳児」が各1名であった。

ゼロ歳児	1歳児	2歳児	3歳児	その他	合計
39	65	9	8	2	123

(2) 第一次選考の結果

「内定しなかった」が55名と、全体の44.7%を占めた。

選考前に申し込みを辞退した方2名は「夫の転職に伴う退職」「転園による子の負担等」を、申し込まなかった方2名は「子の月齢が低いため」「指数が低くて見込みがなかったため」を理由に上げた。その他1名については、保育課のミスにより入園申し込みをしなかったとのこと*である。

内定した	内定しなかった	選考前に申し込みを 辞退した	申し込まなかった	その他
63	55	2	2	1

* 「保育課のミスによりこども園への案内となった」との回答

(3) 内定した方の施設

認可保育所の他、保育室もおよそ4分の1を占めている*。

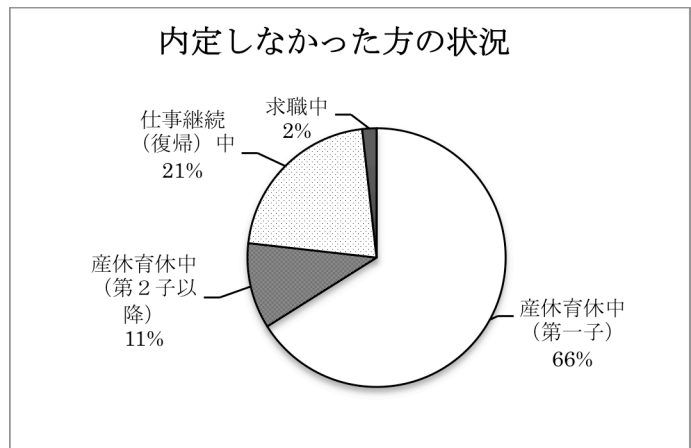
認可保育所	保育室	小規模保育所	区立子供園 (長時間保育)	無記入	合計
42	15	4	1	1	63
66.7%	23.8%	6.3%	1.6%	1.6%	100%

* 保育室は認可外施設であるが、回答者は「内定」と捉えているため、これに従って記載した

(4) 内定しなかった方*の状況

産休育休中の方が多く占める一方、すでに復職済みも 21%を占めている。

* 内定しなかった方については、(2)で「内定しなかった」と回答した 55 名に、保育課のミスにより入園申し込みをしなかったという方 1 名も加えて算出。以降、「内定しなかった方」とはこの 56 名の方を指すものとする。



	産休育休中(第一子)	産休育休中(第2子以降)	仕事継続(復帰)中	求職中
合計	37	6	12	1
内定しなかった	37	6	11	1
その他	0	0	1	0

(5) 内定しなかった方の今後の予定

もっとも多いのは、認可外の結果待ちである。

すでに認可外を押さえている方も 11 名いるが、2、3 歳児に比べ、0、1 歳児で認可外を押さえている人の割合は少なくなっている。なお、すでに押さえている認可外を予定している方の 2 歳児 3 名、3 歳児 1 名は、仕事継続(復帰)中の方であった。

その他の回答としては、「今在籍している渋谷区の認証保育園にもう 1 年通う」「既にグループ保育室に通っている」「区役所に抗議し、二次選考の結果待ち」「これからアタックする」「認可外の結果を待ちつつ、認可の最終調整も期待」のほか、「どうしたらいいのかわからない」という声もあった。

	認可外施設(認証保育所、保育ママ、グループ保育室、ベビーホテルなど)・幼稚園の結果待ち	すでに押さえている認可外施設(認証保育所、保育ママ、グループ保育室、ベビーホテルなど)・幼稚園がある	その他	無記入
合計	38	11	6	1
0 歳児	20	2	0	1
1 歳児	17	5	4	0
2 歳児	0	3	0	0
3 歳児	1	1	2	0

(6) 区への意見等 (自由記述欄を抜粋)

認可に入れず、生活が苦しい

■今回認可保育園は指数が低く内定の見込みがない為申し込みませんでした(夫の仕事が不規則で勤務証明書に必要な期間の労働時間が少し不足していた為)。

私は4月から育休が終わりフルタイムで復帰の予定ですが、保育園が決まらないと退職しなくてはいけないので必死でした。もし今職を失ったら次は正社員にはなれないと思いますし、夫の収入だけでは生活できません。妊娠中から働きながら保活をはじめ、なんとか認証保育所の内定をいただきました。

本当にほっとしましたが、今は世帯年収が低い為、保育料が辛いです。区が認可保育園を簡単に増やせないなら、認可保育園に入れず認可外の保育園で我慢している人に、負担額が認可保育園と同じになるくらいの補助金を出して欲しいです。私は20年以上杉並区に税金を払い続けているのに認可保育園に入れてもらえないのか〜・・・←と。何の効果もないですけどちょっと愚痴りたい気分です。

0歳入園を逃したら、さらに状況は厳しくなりますが、来年以降認可保育園の申し込みをしていくつもりです。認証保育所に入れただけでもありがたいと内定いただいて感謝していますが、本音は狭くて園庭もなく人数の少ない保育所に6年も通わせるのは、子供がかわいそうです。■結果として内定に至らなかったため、今後生活を成り立たせるために働くことは必須のため何をするか、またできるのか思案中です。

子どもが生まれたことで育児休業を取りましたが、保育園が決まらないとの情勢から、仕事へ戻れなかった場合の生活が頭をよぎり、子どもへはお宮参りやお食い初めの行事等を控え最低限の出費で日々を送っています。そのため、子育ての不安感は大きく、充実感は乏しいと感じています。

きょうだいがいるのに入園できず

■今回兄弟加点があったのに入園できなかった。兄弟が入りやすいように、認可外保育の有償加点二ヶ月を廃止したと区役所でいわれたが、逆に入れなくなった。誕生日12-3月の児童優先の理由も不明確で納得行かない。

きょうだい別園に

■今回、第2子が、第1子と同じ認可保育園に入れませんでした。なんとか保育室には内定をいただきましたが、4月からの仕事復帰に際し、一分一秒でも貴重なのに、別園送迎が始まるかと思うと非常に憂鬱です。

周りを見ると、第1子で認可・保育室ともに全滅しているお友達もおり、そういう状況を見ると、「まだ入れただけ有難いかも…」とも思いますが、やはりこんな状況はおかしいです。

しかも、認可保育園に入れないと毎年保活が続くことになり、産休育休中は転園できないため、第2子第3子を産むタイミングをずらしたりすることを考えなくてはけません(自分も実際そうでした)。

少子化対策を本気で考えてくださるのなら、やはり保育施設の整備はこれからもぜひとも継続をお願いしたいです。

保育園に入れなため、第2子を見送り

■1歳クラスでも認可不承諾、一年保育室に通園し、今年も不承諾。来年、2歳までの認可園の卒園児が多くいるなか内定が出る気がしません。保育園が決まらないので、第2子も考えられず。

■保活2年目、昨年の0歳児40点満点で落選に引き続き今年も1歳児で落選しました。今年に関しては、認証保育園に一年通って2点加点があったにも関わらず、内定に至りませんでした。今回こそは入れるだろうと思っていたので、去年に引き続き今年も落ちるとは、目の前が真っ暗になりました。認可に入れるまでは、2人目の出産も見送らざるを得ないと考えています。普通に子供を産んで働き続けることがこんなにも苦しい状況は、間違っています。

入園できたものの、3歳の壁が不安

■小規模保育園ではありますが決まっただけでも良かったと思います。しかし、卒園後は認可保育園に入れるという保証があるわけではないのが不安です。加点はされるか

もしれませんが内定が決まっているわけではないのでまだ保活か…という思いが正直なところです。

■2歳までの受け皿ばかり増やし3歳以降の行き場がない。徒歩30分以上の子供園しか選べなかった。

■内定した保育室は2歳で退園予定だが、3歳で認可園に入れる気がしない。近所の2歳上限の小規模、保育室、認証の定員に対して認可園の3歳枠が少なすぎる。

保育の質も確保してほしい

■私立の認可園が増えているが、区立の認可園を増やして欲しい。区立保育室を区立認可園にしてくれればいいのに。区立は平均的に質がいいが、私立はピンキリな印象。質を上げる取り組みもしてほしい。

■認可保育所は増えているが、新設であるせいか保育所内の制度が整っておらず、劣悪な情報も耳にする。区立私立に関係なく、区では抜きうちチェックなど是非してほしい。

保活の厳しい現状

■区だけの責任ではないにしろ、母がこのように1人につき20件ほどの問い合わせ及び申し込みをせねば入れない、仕事に戻れないというのは、国の女性が輝ける国に！という掲げた目標は到底離れている現実。

小学校（公立）の様に、あなたは自動的にここに入ってくださいという様なシステムがあるといいですね。

■妊娠中体調が悪くて傷病休職をしました。ですが保育園入園が厳しいと聞いていたので、ツワリがなんとか落ち着いた4月末から保活を始めました。

驚いたのは5月の段階で見学に行った認可保育園で0歳児40人待ちと言われた事。それからコツコツと見学、順番待ちに認証保育園を訪ねて行きましたが50人 60人 70人待ちと言われたり、申し込み自体を断られたりや非常に辛い思いをしました。

妊娠中は病気ではありませんが、健康体とも言えません。精神的にも肉体的にも非常に辛い保活となりました。

■昨今の今頃、生後2ヶ月の息子を連れて認可・無認可合わせて10園くらい見学しました（問い合わせは20園くらいしたと思います）。

「認可保育園に受かるだろうな」と頭のどこかで思ってい

たのですが、まったく受からず、無認可も70人待ちとか当たり前で絶望的でした。通勤経路もしらみつぶしに申込み、結果、2園（認証保育園）から許可をいただき、そのうち家から近いほうに入園することができました。家から近いと言っても電車で4駅（隣の区）です。0歳児を抱えての毎日の電車通園は本当につらかったのですが、どうしても来年度の加点が欲しくて夫婦ともに頑張りました。息子も頑張りました。そして今年やっと家の近くの第一希望の認可保育園から承諾をいただきました。1年間がんばった甲斐があったな、と今となっては思いますが、うちはまだ良いほうなのかもしれません。

働くために保育園に入りたいのに受け入れてもらえず、働かなくては加点がもらえないなんてこんな制度おかしいです。地域の小学校中学校のように、すんなり入園できなければいけないと思います。

赤ちゃんが生まれるということは家族にとっても地域にとっても日本にとっても喜ばしいことなのに、こんなことでは子供を産みたいと思う人がどんどん少なくなっていってしまいます。

現にいま私は第二子を妊娠中ですが、上の子と同じ園に入れるかどうか不安でたまりません。同じ園でなくても、認可保育園に入れるかどうか・・・不安で仕方ないです。安心して子供を産んで育てていけるよう区にはもっともっと園を増やしてほしいと強く思います。

■妊娠後期の不調を抱えつつ保活を開始し、産後すぐの体で我が子を連れての保育園見学や書類作成等、とても出産の喜びをゆっくり感じる暇が無かった。一次調整で不承諾通知を受け取ったことで無認可園への問い合わせ、見学の日々が再開することに…。心身共に休まらず、子育てに専念できない。

■昨年、次女の0歳4月の選考に落選し、異議申し立てを行わせていただきました。その後なんとか認可外を見つけ、朝から2つの保育園に通い、病気の夫には無理に働いてもらってなんとか今年は内定をもらえましたが、ほんとうに疲れてしまいました。

選考のルールに生活を合わせなければならぬばかりか、合わせなければ通えないというジレンマに苦しみました。ことし落選した方が同じような思いをなさると思うと大変心苦しいです。

■杉並区はフルタイム勤務でも認可保育園に入園するのは難しいという事前情報を受けて、妊娠中から保活を始めました。結局、認可と保育室は内定に至らず、現在は認証保育園と保育ママの結果待ちですが、どこも数名の枠に100名程度の予約が入っているとのことで、どこにも受からない可能性も高く、不安です。会社へも4月に復帰できるか明確な連絡が出来ず、迷惑を掛けています。

認可外保育園も検討し始めましたが、区の助成金が出ないため月々の支払いが厳しいです。復帰せずに育休手当を受け取る方が手取りが大きくなるという逆転の現象が起きてしまいますし、何より家計を圧迫するため復帰が難しいのが現状です。

■第一子が1歳児からの認可園に通っているため、第二子は0歳児クラスで同園に通うことが出来ず、二カ所通園が長期間になることを避けるべく第二子は認証園に預け、二カ所通園を1年間続けました。結果として43点で兄と同園に内定しましたが、子どもにとっては保育環境が変わることは大きな負荷がかかると感じます。0～5歳児まで安心して通園できる保育環境の整備が必要と感じます。

■自営業にとっては非常に厳しいルール（実質4ヶ月以上の休業不可）とそのわかりにくさに驚きながらの保活でした。近所の新設の認可外保育所に入れたことが幸運で、加点を得て認可園に入れる見込みとなりましたが、仕事の再開時期、認可外への入所タイミング、どれかがひとつでもずれればその後の展開は全く違っていただろうと思うと冷や汗が出ます。

早生まれの場合、自営業の場合など不利が多いと思われるケースの人にはよりわかりやすいルールやコツの案内をしてほしい！と心底思います。

■3月生まれで0歳児4月入園を諦めた時点で、まあ厳しいのだろうな、という予感はしていました。私がフルタイムではなく、指数が40点に満たないため、不承諾の理由もわかっています。

早めに認証園に申しもしましたが、どこも確約されるものではなく、保育ママさんには時間的に無理…と、思った以上に厳しい現実打ちのめされています。

相談しに行っても、フルタイムでない人は話にもならない、と言われていたような気分になりました。

住み良い街で、できればこのまま住み続けたい気持ちはありますが、このまま見つからなければ他区へ引越をせざるを得ません。

生まれる前から保育園の事をずっと心配していなくてはいけない、この社会のあり方にとっても疑問を感じます。これでは少子化が進むのも当たり前だ、ということを実感しました。

その他（区への意見等）

■障害児入園 障害児です。認可を断られると認証では難しい感触です。大変困っています。

■第3子優先入所等について

・6年程前、現在小2の上の子のときは、パートでも認可保育園に入れたが、今回は認証もムリそうです。現在の杉並区の状況の厳しさを痛感しています。

杉並区は子供が増えているのだから、第3子の補助を厚くするより待機児童を減らすことに尽力してほしい。

・保活を始めた時は、早くから活動していればどこか見つかると思っていましたが、妊娠中から活動しているのに、現在どこも決まっていません。認可保育園に限らず認可外も含めて保育園の数が絶対的に不足していると思います。今はどうしてよいかわからず途方に暮れています。

新年度から「3人目誕生したら、きょうだい含めて優先的に認可保育園に入れる」とニュースでみましたが、ただでさえ認可保育園が不足している状況にも関わらず、他の地域から3人きょうだいが流入してくると思います。先に保育園を十分増やすべきではないでしょうか。

・こんなにも待機児童問題が深刻化していることを身をもって知った。30件ほど見学したが、中には劣悪な環境の保育施設もあり、そんな施設でも保育不足で運営できてしまうことも怖いと感じた。幸い保育室の内定は出たが、2歳までなのでまた2年後に向けて保活しなければいけないと思うと不安もたくさんある。

また、最近のニュースで3人目以降の優遇や無料化の記事を見たが、それ以前に1人目2人目が入園できない事態を解決すべきではないかと思う。

■保育室について

去年は保育室、今年は認可の内定をいただけたので、我

が家は恵まれている方なのだと思います。我が家が現在お世話になっている保育室は保育の質もよく、園職員各位ならびに区保育課の皆様には大変感謝しておりますが、転園に伴う諸手続きや再度の慣らし保育は、復職済みの保護者にとって、また既に現施設への愛着が形成されている子本人にとっても、決して小さな負担ではありません。贅沢といえば贅沢な望みであることは承知しておりますが、保育室施策はあくまでも一時解決に過ぎないのだということ念頭に置いていただき、今後のさらなる改善に繋げていただければと思います。

■マッチングサービスについて

今年はどうかわかりませんが、昨年、0歳児で不承諾の通知と一緒に「認証、認可外保育施設のマッチングサービス希望申込み」という書類が同封されておりました。当時、認証・認可外の結果待ちもしていたところで、その書類を見て藁にもすがる思いでマッチングの申込みを区に提出しました。マッチング期間や入園までのスケジュールなど書類に書いていなかったので問い合わせしてみると、「施設に空がないと紹介できない」という内容でした。

そもそも認証、認可外がその時点では単願や早い者順で内定者がほぼ決まっており、空はほぼ無いのにも関わらず、「見込みのない対応策」形式だけの「サービス」に対して非常に不快な気持ちになりました。既に認証・認可外に申込みをした上で認可に申込みを出しているご家庭は多くいるはずですし、保活をされている方の多くは自分の通える範囲の保育園の知識は少なからずお持ちだと思います。その上を行くサービスなのかと期待をしましたが、非常に期待外れであり、残念でした。

そのマッチングサービスを活用できた方はいるのでしょうか？マッチングサービスの期間に対しても「取り急ぎこの春（2015年度）やってみて、今後の予定は未定です。マッチングに至った方だけご連絡します」と言われました。この話を知らずに書類を郵送し、マッチングサービスの連絡を待たれていた方もいたと思います。不親切な上に需要と供給が全く合わない物はサービスではありません。

■窓口対応について

・妊娠中から保活を開始したが、行政への状況伺や相談のたびに、状況の厳しさと見通しが立たないことに愕然とす

る日々。また、幸いにも認可から内定受理したものの3歳の壁を早くも意識する状況。

住みよい区ではあるが、乳幼児保育へより多くのリソースを投下して頂きたい。同時に、区として保育園等の拡充に当たってどのような課題や制約があるか、発信して頂きたい（予算、用地、人員、近隣住民の声など）。

・こどもセンターと区役所の保育課の情報差がありすぎる。一次落選時に、内定者の指数を聞きに行ったが、こどもセンターでは教えられないと言われ、区役所に出直した。またアドバイスも、区役所のほうがより現実的で具体的なアドバイスをもらえたと思う。区役所の長蛇の列もストレスになるので、こどもセンターでも同じ役割を担ってもらえればと思った。

■母子手帳交付時などにニーズを把握しては？

区の関係者が努力してくださっていることも十分理解できますし、現場の保育園の方にも感謝していますが、進め方は効率的ではないように感じる点が多かったです。

例えば、母子手帳の交付時点で、保育の必要性登録させるよう情報収集していけば、正確な必要データが取れると思うし、将来不都合に至りたくないから住民は情報提供を嫌がらないと思います。妊娠時点で、先のことまでは分からないという人もあるかもしれませんが、計画的な人も多いと思います。

■学区制のようなものを設けてほしい

途方に暮れ、怒りが湧き、今はまた途方に暮れているところです。両親フルタイムで1年間認可外の加点付きで、近所の保育園に入れないのは、やはりおかしい。遠い園も申し込むべきだったと言われればそれまでだが、そもそもここまで苦労しなくてはいけないのは、やはりおかしいと思う。

行き当たりばつりの計画ではなく、希望者全員が近所の保育園に入れるように、学区制をとって計画的にふやしてほしい。小中学校が足りないということはあり得ないのだから、義務化してしまえばできないはずはない。妊娠中に何歳から保育園に申し込むか（または申し込まないか）を聞いておけば、多少の前後はあっても計画は立てられるはず。